

felissimo fund report

2018年度
フェリシモ 基金活動報告

{ 2018.3 - 2019.2 }

FELISSIMO

2018年度 フェリシモ基金活動のご報告

フェリシモ基金活動は、お客さまおひとりおひとりの善意を基金というかたちでお預かりして運営しています。たくさんのご参加、本当にありがとうございます。感謝の気持ちとともに、ここに2018年度の全基金活動をご報告させていただきます。はじめはひとりでも、小さなことも集まれば大きな夢の力になります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2018年度基金総額

2018年3月～2019年2月

みなさまからお寄せいただいた基金の収支をご報告いたします。

期首残高	¥ 132,946,244
収入	¥ 110,135,454
支出	¥ 143,257,063
期末残高	¥ 99,824,635 (2019年2月末日現在)

東日本大震災 毎月100円義援金 (基金)

TOTAL

東日本大震災毎月100円義援金(基金)スタート以来、集まった基金は累計で3.5億円を超え、被災地の復興を支援しています。

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で東日本大震災で被災された方々の心と暮らしの立て直し、地域の復興などを長期的に支援しています。

2018年度は、お客さまから28,799,976円をお預かりし、以下の事業および「とうほくIPPOプロジェクト」に総額47,969,437円を拠出しました。

2016年4月14日に発生した熊本地震の被害の大きさを鑑み、2017年度につづき以下の2つのプロジェクトに、集まった基金の一部(1,890,000円)を拠出しました。これは、もともと阪神・淡路大震災を契機にはじまった義援金(基金)が、本義援金に引き継がれた経緯をふまえて対応しました。

- ◆熊本を復興で繋げるプロジェクト～咲き織りで紡ぐコミュニティ形成～/益城だいすきプロジェクト・きままに
- ◆熊本らしい復興を語り継ぎ、備えと安全を未来へ手渡すプロジェクト/多文化と共生社会を育むワークショップ

東日本大震災 もっとずっときつと基金

TOTAL

東日本大震災 もっとずっときつと基金 スタート以来、集まった基金は累計で2,000万円を超え、被災地の復興を支援しています。

東日本大震災により被災された地域、人々の復興支援のために商品の一部を基金付きで販売し、お預かりした基金は、東日本大震災の復興支援、子ども支援に活用されています。

2018年度は、お客さまから731,138円をお預かりし、あしなが育英会および「とうほくIPPOプロジェクト」に総額864,763円を拠出しました。



ケアボランティアとピアノ練習 ©あしなが育英会

女性の元気が東北を元気に「とうほくIPPOプロジェクト」

東日本大震災に対する息の長い復興支援の必要性から、女性による東北の産業復興を支援する「とうほくIPPOプロジェクト」を2012年6月に発足しました。このプロジェクトは、責任者、主なメンバーが女性であることを条件に事業提案を公募し、審査の結果選ばれた個人・団体に支援金を支給し、被災地の産業復興のきっかけづくりにつなげていく取り組みです。

第7期として、次の16件のプロジェクトへの支援を行いました。

- | | | |
|---|--|---|
| ◆「もったいない」地域資源を活用した商品開発事業/隔と人 | ◆TOHOKU地産地消のドッグケアブランド[DearGree]/グリーディー | ◆街並みの復活と本当の心の復興、日常を、暮らしを楽しむプロジェクト/石川 |
| ◆日本にあった昔からの自然布の事を伝え、作り方を継承しながら古布や新作品の販売/倭文の会 | ◆「絆と想いを結ぶ」フラワーアレンジメントと植物の販売/イリゼ | ◆小さな家カフェ お茶っこ 桜/伊藤かよ子 |
| ◆雄勝町に住む人訪れる人のために地元の食材を駆使した海のパン屋さん/みんなのカフェanran ficant | ◆学びとくつろぎの空間をこの石巻・稲井地区に/千葉牧子 | ◆ひっほのお店で女性の活躍と地域の未来をつくる/雫浜地区復興連絡協議会女性部IPPO-IPPO |
| ◆「ふもとへ」天空のレバーを籠に届けるプロジェクト/準備室 | ◆こころとからだにやさしいアグリチャレンジ/蔵の農泊あぐり | ◆好きを仕事に、365SMILEプロジェクト/Icing on the Cake |
| ◆女性による介護タクシー事業/にこにこケアタクシー | ◆パン工房ここあ/パン工房ここあ | ◆地元の仲間とつくるおいしさに喜びと楽しさを/Patisserie Partir |
| | ◆石巻市南境地区公園内カフェ/Café Plumeria | |

コミュニケーションの維持と交流の大切さなどの観点から、地域の行事やイベントを提案するコミュニケーション部門を新設し、第8期として、次の6件のプロジェクトへの支援を行いました。

- | | | |
|--------------------------------|--|--------------------------------------|
| ◆語りの場「私たちのターニングポイント」/語り場プロジェクト | ◆みお七ヶ浜まつり/みお七ヶ浜まつり実行委員会 | ◆犬との幸せ講座・復興住宅支援活/人と犬の幸せな共生をサポートする 戌柳 |
| ◆犬楽園/犬楽園 | ◆産前・産後サポート活動～ママと子どもの暮らしを愉しむ居場所作り～/mum-firstのぎのたね | ◆地域住民のコミュニティ形成/絵手紙 たんぽぽ |

フェリシモ 地球村の基金

TOTAL

1993年のフェリシモ 地球村の基金スタート以来、集まった基金は累計で3.1億円を超え、これまでに世界59ヵ国255の活動を支援しています。

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で貧困からの自立、自然災害などからの救済、復興の応援など、世界各地で進められている活動を支援しています。

2018年度は、お客さまから6,368,494円をお預かりし、以下の7事業に総額5,974,449円を拠出しました。

レバノン共和国
レバノンに避難するパレスチナ人シリア
難民の緊急越冬支援
(助成団体：パレスチナ子どものキャンペーン)



©パレスチナ子どものキャンペーン

トルコ共和国
学ぶ機会のないシリア難民の子ども達へ
緊急教育支援
(助成団体：ホープフル・タッチ)



©ホープフル・タッチ

ウガンダ共和国
HIVと共に生きるシングルマザーによる
カフェ・ビジネス
(助成団体：エイズ孤児支援NGO・PLAS)



©エイズ孤児支援NGO・PLAS

カンボジア王国
「村の幼稚園」保育者育成支援
(助成団体：幼い難民を考える会)



©幼い難民を考える会

南スーダン共和国
難民キャンプのストリートチルドレン
が学校に通えるように！
(助成団体：日本国際ボランティアセンター)



©日本国際ボランティアセンター

インド
インドハンセン病コロニーにおける養
鶏を対象とした小口融資事業
(助成団体：わびねず)



©わびねず

ルワンダ共和国
ルワンダのミヨベ地区における子ども
の健康の改善
(助成団体：ルワンダの教育を考える会)



©ルワンダの教育を考える会

フェリシモ わんにゃん基金

TOTAL

2011年のわんにゃん基金スタート以来、集まった基金は累計で1.7億円を超え、動物たちの保護と飼い主探しの支援を続けています。

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で動物たちの保護と飼い主探しを支援しています。

2018年度は、お客さまおよびお取引先さまから29,073,094円をお預かりし、国内61の動物保護団体に総額29,246,631円を拠出しました。

国内の様々な団体での動物の里親探しの活動、一時的に保護している動物のフード代や医療費、野良猫の過剰繁殖の防止活動、災害時の動物保護活動などの支援に使われます。



大きくなった犬たち ©アニマルライフセーバー

フェリシモの猫基金

TOTAL

フェリシモの猫基金は、2011年のスタート以来累計で9,600万円を超え、猫をはじめとする動物保護活動を支援しています。

「猫と人とがともにしあわせに暮らせる社会になりますように」という思いをこめて、フェリシモ猫部から生まれた商品の一部を基金付きで販売し、集まった基金で猫をはじめとして、国内諸団体の動物の里親探し活動、一時的に保護している動物のフード代や医療費、野良猫の過剰繁殖の防止活動、災害時の動物保護活動などの支援に使われます。

2018年度は、お客さまから13,712,820円をお預かりし、国内61の動物保護団体に総額14,042,743円を拠出しました。



治療中の猫 ©淡路ワンキョウクラブ

フェリシモの森基金

TOTAL

1990年のフェリシモの森基金スタート以来、集まった基金は累計で4.3億円を超え、国内外42カ所で約2,734万本の植林が実現しています。

※「フェリシモの森活部」
「フェリシモの森基金」の活動をさらに広げ、お客さまとともに森を守り、育てる活動を企画しています。
詳しい活動内容は、
<http://fsforest.tumblr.com/>
をご覧ください。

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、また商品の一部を基金付きで販売し、集まった基金等で、国内外での森づくりや森林の維持・活用を支援しています。

2018年度は、お客さまから6,715,084円をお預かりし、国内外の森づくりに6,235,000円を拠出しました。

第11回目の海外での森づくりとして、インド西ベンガル州にマングローブ、オディシャ州にカシューの木、ジャルカント州にソナジュリーを始めとした多様な樹木の植樹を進めています。



(助成団体：タゴール協会) 古いマングローブ農園 ©タゴール協会

第42回目の森づくりとして、岩手県一関市藤沢町保呂羽地区に、ナラ、クヌギ、カエデなど2,500本を植樹しました。(助成団体：リリリース)



植樹祭の様子 ©リリリース

はな＊はな＊みどり基金

TOTAL

はな＊はな＊みどり基金は、2008年のスタート以来累計で1,100万円を超え、国内外の植林活動を支援しています。

ネパール中部地震 100円義援金 (基金)

TOTAL

ネパール中部地震100円義援金(基金)スタート以来、累計で460万円を超え、被災地の復興を支援しています。

北海道胆振東部地震 100円義援金 (基金)

ピース・バイ・ピース コットン基金

TOTAL

ピース・バイ・ピースコットン基金は、2009年のスタート以来累計で1億円を超え、農村の自立支援、子どもたちの教育支援に活用されています。

「あなたが贈るお花が世界で植えられる植物とつながりますように」という願いをこめて、カタログ『しあわせの母の日』に掲載の商品をはじめ、花・植物の商品の一部を基金付きで販売し、集まった基金で植林活動を支援しています。

2018年度は、お客さまから494,970円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、658,682円をタゴール協会の「インドの森づくり」事業に拠出しました。

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で、ネパール中部地震で被災された方々の生活および地域復興などを支援しています。

2018年度は、お客さまから227,950円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、ピースウインズ・ジャパンの「家内工業従事者の生計向上を通じた持続可能な地域産業振興」への支援に1,268,400円を拠出しました。



ダカ織りの様子 ©PWJ

※2018年8月をもって、当該基金の募集を終了しました。

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で、北海道胆振東部地震で被災された方々の生活や地域および文化の復興などを支援します。

2018年度は、お客さまから579,776円をお預かりしました。

綿花栽培で衰弱した土地を救い、未来の子どもたちに元気な大地を残すために始動したプロジェクトです。インド産オーガニックコットンから作られる商品を基金付きで販売し、集まった基金をインドでオーガニックコットン栽培を通じた農村の自立支援、子どもたちの教育支援などの活動に寄付しています。

2018年度は、お客さまおよびお取引先さまから4,728,429円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、FORUM FOR INTEGRATED DEVELOPMENTおよびPEACE BY PEACE COTTONに総額15,741,050円を拠出しました。

2010年からはじまったピース・バイ・ピースコットン基金の支援はこれまでに14,079の農家(1年目の農家含む)が有機栽培に移行し、持続的に収入を得ることができるようになりました。また、就学支援や奨学金により、インドの農村部に住む2,008名の未就学の子どもたちが学校に通うことができようになり、高校・大学へ進学するための教育支援としても活用されています。



フェリシモ子ども基金

TOTAL

NUSY ラブ&ピースシリーズを含むフェリシモ子ども基金は、2001年のスタート以来累計で7,800万円を超え、世界各地の子どもたちを支援しています。

2001年に起きた米国同時多発テロ事件をきっかけに、子どもたちにしあわせな未来を残そうとメッセージを発信して寄付もできる「nusy ラブ&ピースメッセージTシャツ」を発売し、集まった基金を世界の子どもたちのための活動に寄付しています。



2018年度は、お客さまおよびお取引先さまから1,915,576円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、2,021,390円をチャイルド・ファンド・ジャパンのネパールの子どもたちのための学用品とリュックの配布および濾過(ろか)機の設置に拠出しました。

ラブ&サンクス基金

「チョコレートの輪が世界中に広がって、誰かのしあわせの種になりますように」という願いを込めて、カタログ『幸福のチョコレート』に掲載のすべてのチョコレートを基金付き商品として販売しています。

2018年度は、お客さまから2,649,680円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、2,681,898円をACE(エース)が支援するガーナのカカオ農家の生活向上とカカオ農園の児童労働をなくす活動に拠出しました。



卒業した村の小学校の子どもたち ©ACE 長老会と住民ボランティアとの会合 ©ACE 卒業セレモニーに参列した子どもたち ©ACE

海基金

※「沖縄の美しいサンゴ礁を未来に残したい」という思いから、2010年にスタートした「沖縄サンゴ基金」は、2016年に基金名称を「海基金」へ変更しました。

「沖縄のサンゴ礁にとどまらず、世界中とつながる海を守りたい」という思いから、商品の一部を基金付きで販売し、海の保全活動を支援しています。

2018年度は、お客さまから278,467円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、238,032円を沖縄県立沖縄水産高等学校に拠出しました。



ビーチクリーン活動の様子

てのひらを太陽に基金

「未来につながる子どもたちのためにになりますように」という思いをこめて、商品の一部を基金付きで販売し、集まった基金で子どもたちの夢や感性をはぐくむ活動を支援しています。

2018年度は、お客さまから92,941円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、総額100,000円を日本臨床美術協会を通じて児童保護施設エンジェルホームでの子どもたちへのアートワークショップおよび作品展に拠出しました。

ユニカラート基金

障がい者のアートを用いたユニークなテキスタイルデザインの商品の一部を基金付きで販売し、集まった基金で表現活動の活性化や次世代アーティストの育成活動を支援しています。

2018年度は、お客さまから316,750円をお預かりしました。お預かりした基金のうち、200,000円はエイブル・アート・ジャパンを通じて、エイブル・アート・アワード2018「小さなアトリエ支援の部」を受賞した絵画等教室「ほっとチョコレート」に拠出しました。



◎絵画等教室「ほっとチョコレート」

メリーで社会貢献

TOTAL

メリーで社会貢献は、2002年のスタート以来累計で2億円を超え、それぞれの活動を支援することができました。

フェリシモが発行するお買い物ポイント“フェリシモメリー(mr)”でプレゼントを選ぶ代わりに、社会性のある活動に寄付するプログラムです。

集まったポイントを全額換算し、それぞれの活動に寄付しています。

2018年度は、以下の支援プログラムにお客さまから11,732,038円相当額をお預かりし、次の事業に総額13,206,953円を拠出しました。

「盲導犬育成支援」

全国盲導犬施設連合会を通じて、全国の8ヵ所の盲導犬育成施設に寄付しました。それぞれの施設で盲導犬の育成や活動の啓蒙、また、引退した盲導犬たちの支援に活用されます。



©全国盲導犬施設連合会

「動物たちの保護と飼い主支援」

国内の62の団体に対して寄付しました。飼い主に捨てられ、保健所などで処分されそうになる動物たちを保護し、新たな飼い主を探す活動に活用されます。



©東京キャットガーデン

「ブルキナファソの子どもたちへの栄養改善事業支援」

ハンガー・フリー・ワールドに寄付しました。西アフリカの国、ブルキナファソの乳幼児妊産婦栄養改善事業に活用されます。



©HFW

「紛争地域の子どもたちへの医療活動支援」

ドイツ国際平和村に寄付しました。紛争地域など海外から受け入れた子どもたちを治療したり、現地での医療支援を行います。



©ドイツ国際平和村

「iPS細胞研究支援」

京都大学 (iPS細胞研究所) に寄付しました。公的資金ではカバーしにくい研究者・研究支援者の雇用や知的財産権の確保などに活用されます。



実験を行う様子
©京都大学iPS細胞研究所

「国内の難病の子どもたちの夢をかなえる活動支援」

メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパンに寄付しました。ひとりひとり違う子どもたちの夢をかなえる活動に活用されます。



©メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン

「木村式農学校の運用と指導員育成支援」

Hokkaido木村秋則自然栽培農学校に拠出しました。木村式自然栽培農学校の運用と指導員の育成に活用されます。



©Hokkaido木村秋則自然栽培農学校

「コンゴ民主共和国 元子ども兵のショップ開設支援」

テラ・ルネッサンスに寄付しました。コンゴ民主共和国での元子ども兵の職業訓練と、運営経費に活用されます。



溶接技術を披露する様子
©テラ・ルネッサンス

「東北ツリーハウス基金」

東北ツリーハウス観光協会に寄付しました。東北にツリーハウスを建築するための費用や団体の活動を支える費用などに活用されます。

「東日本大震災フェリシモメリーしあわせ基金」

ライトハウスに寄付しました。「子ども食堂はびい」への支援に活用されます。

【メリーファンディング】

支援・サポートを必要としている誰かの「想い」や「夢」をみんなのメリーポイントで応援し一緒にカタチにしていく取り組みです。

◆CCP「ハンドピックコーヒー」の自家焙煎事業をスタートする福祉事業所を応援したい！／チュラキューブ

◆シングルマザーの洋裁店にミシンを届けたい！／テラ・ルネッサンス

◆シングルマザーの洋裁店開業のための建設費用を支援したい！／テラ・ルネッサンス



焙煎士黒田さんのレクチャーの様子



ミシンを手に喜ぶシングルマザーたち



完成した洋裁店にて

ほかにも、以下の支援プログラムに対して計760,080円相当額をお預かりしました。

北海道地震災害メリー

その他基金付き商品の販売等による基金

商品のコンセプトに沿った活動を応援するさまざまな基金付き商品を販売しています。

集まった基金はそれぞれの活動に寄付します。

＜拠出した基金＞

2018年度は、お客さまから324,163円をお預かりしました。お預かりした基金は、次の事業に総額2,093,141円を拠出しました。

インフィニット・ホープ基金はお客さまから31,767円をお預かりし、e-Educationへ1,070,000円を拠出しました。拠出した基金は、「世界の果てまで、最高の授業を届けよう！」事業に活用されます。

デザインフォーフューチャー基金は「神戸でみんなでアートしよう!!」実行委員会へ619,420円を拠出しました。拠出した基金は、「ありがとう！六甲山」アート紙芝居を作ろう！への支援として活用されます。

木村式自然栽培農法推進基金はお客さまから282,700円をお預かりし、Hokkaido木村秋則自然栽培農学校へ280,100円を拠出しました。拠出した基金は、木村式農学校の運用と指導員育成のための支援として活用されます。

東北100のツリーハウス基金は東北ツリーハウス観光協会へ109,050円を拠出しました。拠出した基金は、東北に100のツリーハウスを建てる活動への支援として活用されます。

アルモンド基金はお客さまから3,066円をお預かりし、お預かりした基金は、次の2事業に7,581円を拠出しました。

盲導犬育成支援／全国盲導犬施設連合会

難病のこどもの夢をかなえる支援／メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン

ほかにも、お客さまから6,630円をお預かりし、6,690円を以下の3事業へ拠出しました。

東日本大震災遺児への心のケアと教育支援／あしなが育英会
レバノンに避難するパレスチナシリア難民の緊急越冬支援／パレスチナ子どものキャンペーン
紛争地域の子どもたちへの医療活動支援／ドイツ国際平和村

＜今後活用される予定の基金＞

2018年度は、以下に記載の16の基金から総額 522,450円をお預かりしました。

CCPチャレンジド応援基金は商品の一部を基金付きで販売し、チャレンジド（障がいのある人たち）のスキルアップや地域での理解を深める活動への支援として、お客さまから269,508円をお預かりしました。

東北花咲かお母さんプロジェクト基金は「お母さんの手仕事で東北に花を咲かせよう」という思いから、商品の一部を基金付きで販売し、地元の花や緑を植える活動への支援として、お客さまから64,190円をお預かりしました。

上記2つの基金のほかに、計188,752円をお預かりしました。

未来のたからものサンゴの森基金
神戸市消防局とつながる応援基金
上賀茂神社社年遷宮基金
北海道胆振東部地震支援基金
チャイルドワンピングアンブレラ運動
グリーンドレス基金
女川スペインタイルプロジェクト基金

チルドレン・オブ・セブ・ファウンデーション基金
ユネスコ世界寺子屋運動基金
フェリシモの森基金
スマイル・アース基金
おてらおやつクラブ基金
アルモンド基金
トリビュート基金

神戸学校

TOTAL

神戸学校の参加料による寄付は、1997年の活動のスタート以来累計で1,800万円を超え、これまでに桃穂育英会ならびにあしなが育英会に寄付することができました。

毎月1回、テーマにふさわしいゲストを神戸にお招きしてレクチャーやワークショップを開催する神戸学校は、参加費の全額を寄付しています。

2018年度は、お客さまから871,658円をお預かりし、あしなが育英会に714,494円を拠出しました。



メリーで社会貢献

TOTAL

メリーで社会貢献は、2002年のスタート以来累計で2億円を超え、それぞれの活動を支援することができました。

フェリシモが発行するお買い物ポイント“フェリシモメリー(mr)”でプレゼントを選ぶ代わりに、社会性のある活動に寄付するプログラムです。

集まったポイントを全額換算し、それぞれの活動に寄付しています。

2018年度は、以下の支援プログラムにお客さまから11,732,038円相当額をお預かりし、次の事業に総額13,206,953円を拠出しました。

「盲導犬育成支援」

全国盲導犬施設連合会を通じて、全国の8ヵ所の盲導犬育成施設に寄付しました。それぞれの施設で盲導犬の育成や活動の啓蒙、また、引退した盲導犬たちの支援に活用されます。



©全国盲導犬施設連合会

「動物たちの保護と飼い主支援」

国内の62の団体に対して寄付しました。飼い主に捨てられ、保健所などで処分されそうになる動物たちを保護し、新たな飼い主を探す活動に活用されます。



©東京キャットガーデン

「ブルキナファソの子どもたちへの栄養改善事業支援」

ハンガー・フリー・ワールドに寄付しました。西アフリカの国、ブルキナファソの乳幼児妊産婦栄養改善事業に活用されます。



©HFW

「紛争地域の子どもたちへの医療活動支援」

ドイツ国際平和村に寄付しました。紛争地域など海外から受け入れた子どもたちを治療したり、現地での医療支援を行います。



©ドイツ国際平和村

「iPS細胞研究支援」

京都大学(iPS細胞研究所)に寄付しました。公的資金ではカバーしにくい研究者・研究支援者の雇用や知的財産権の確保などに活用されます。



実験を行う様子
©京都大学iPS細胞研究所

「国内の難病の子どもたちの夢をかなえる活動支援」

メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパンに寄付しました。ひとりひとり違う子どもたちの夢をかなえる活動に活用されます。



©メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン

「木村式農学校の運用と指導員育成支援」

Hokkaido木村秋則自然栽培農学校に拠出しました。木村式自然栽培農学校の運用と指導員の育成に活用されます。



©Hokkaido木村秋則自然栽培農学校

「コンゴ民主共和国 元子ども兵のショップ開設支援」

テラ・ルネッサンスに寄付しました。コンゴ民主共和国での元子ども兵の職業訓練と、運営経費に活用されます。



溶接技術を披露する様子
©テラ・ルネッサンス

「東北ツリーハウス基金」

東北ツリーハウス観光協会に寄付しました。東北にツリーハウスを建築するための費用や団体の活動を支える費用などに活用されます。

「東日本大震災フェリシモメリーしあわせ基金」

ライトハウスに寄付しました。「子ども食堂はびい」への支援に活用されます。

【メリーファンディング】

支援・サポートを必要としている誰かの「想い」や「夢」をみんなのメリーポイントで応援し一緒にカタチにしていって取り組みです。

◆CCP「ハンドピックコーヒー」の自家焙煎事業をスタートする福祉事業所を応援したい！／チュラキューブ

◆シングルマザーの洋裁店にミシンを届けたい！／テラ・ルネッサンス

◆シングルマザーの洋裁店開業のための建設費用を支援したい！／テラ・ルネッサンス



焙煎士黒田さんのレクチャーの様子



ミシンを手に喜ぶシングルマザーたち



完成した洋裁店にて

ほかにも、以下の支援プログラムに対して計760,080円相当額をお預かりしました。

北海道地震災害メリー

その他基金付き商品の販売等による基金

商品のコンセプトに沿った活動を応援するさまざまな基金付き商品を販売しています。

集まった基金はそれぞれの活動に寄付します。

＜拠出した基金＞

2018年度は、お客さまから324,163円をお預かりしました。お預かりした基金は、次の事業に総額2,093,141円を拠出しました。

インフィニット・ホープ基金はお客さまから31,767円をお預かりし、e-Educationへ1,070,000円を拠出しました。拠出した基金は、「世界の果てまで、最高の授業を届けよう！」事業に活用されます。

デザインフォーフューチャー基金は「神戸でみんなでアートしよう!!」実行委員会へ619,420円を拠出しました。拠出した基金は、「ありがとう！六甲山」アート紙芝居を作ろう！への支援として活用されます。

木村式自然栽培農法推進基金はお客さまから282,700円をお預かりし、Hokkaido木村秋則自然栽培農学校へ280,100円を拠出しました。拠出した基金は、木村式農学校の運用と指導員育成のための支援として活用されます。

東北100のツリーハウス基金は東北ツリーハウス観光協会へ109,050円を拠出しました。拠出した基金は、東北に100のツリーハウスを建てる活動への支援として活用されます。

アルモンド基金はお客さまから3,066円をお預かりし、お預かりした基金は、次の2事業に7,581円を拠出しました。

盲導犬育成支援／全国盲導犬施設連合会

難病のこどもの夢をかなえる支援／メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン

ほかにも、お客さまから6,630円をお預かりし、6,690円を以下の3事業へ拠出しました。

東日本大震災遺児への心のケアと教育支援／あしなが育英会
レバノンに避難するパレスチナシリア難民の緊急越冬支援／パレスチナ子どものキャンペーン
紛争地域の子どもたちへの医療活動支援／ドイツ国際平和村

＜今後活用される予定の基金＞

2018年度は、以下に記載の16の基金から総額522,450円をお預かりしました。

CCPチャレンジド応援基金は商品の一部を基金付きで販売し、チャレンジド（障がいのある人たち）のスキルアップや地域での理解を深める活動への支援として、お客さまから269,508円をお預かりしました。

東北花咲かお母さんプロジェクト基金は「お母さんの手仕事で東北に花を咲かせよう」という思いから、商品の一部を基金付きで販売し、地元の花や緑を植える活動への支援として、お客さまから64,190円をお預かりしました。

上記2つの基金のほかに、計188,752円をお預かりしました。

未来のたからものサンゴの森基金
神戸市消防局とつながる応援基金
上賀茂神社社年遷宮基金
北海道胆振東部地震支援基金
チャイルドワンピングアンブレラ運動
グリーンドレス基金
女川スペインタイルプロジェクト基金

チルドレン・オブ・セブ・ファウンデーション基金
ユネスコ世界寺子屋運動基金
フェリシモの森基金
スマイル・アース基金
おてらおやつクラブ基金
アルモンド基金
トリビュート基金

神戸学校

TOTAL

神戸学校の参加料による寄付は、1997年の活動のスタート以来累計で1,800万円を超え、これまでに桃穂育英会ならびにあしなが育英会に寄付することができました。

毎月1回、テーマにふさわしいゲストを神戸にお招きしてレクチャーやワークショップを開催する神戸学校は、参加費の全額を寄付しています。

2018年度は、お客さまから871,658円をお預かりし、あしなが育英会に714,494円を拠出しました。



フェリシモ 基金活動について

本報告書に記載している活動は、お客さま、お取引先さま、株主のみなさま、従業員、現地で活動を行う団体や個人のみなさまなど活動に関わるすべての人々によって支えられています。本当にありがとうございます。ひとりひとりの力は小さくても、それぞれの思いを重ねることで、たくさんの夢を実現しています。これからも、みなさまの思いを生かした活動を展開していきたいと考えています。フェリシモでは、おひとりおひとりのお気持ちを「全額、直接的な支援活動に生かす」ことを原則とし、広報活動や基金事務局の運営費用等はフェリシモが負担しています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

ご意見・ご提案について

フェリシモの基金活動についてのご意見、ご提案をお寄せください。

<https://www.felissimo.co.jp/s/fundotayori/>

2018年度 基金拠出先一覧

すべての基金の拠出先一覧です。

2018年度は、国内外の116団体の活動を支援しました。

Icing on the Cake	特定非営利活動法人神戸猫ネット	公益財団法人日本アニマルトラスト	認定NPO法人HOKKAIDOしっぽの会
あしなが育英会	神戸ノラネコTNR実行委員会	認定NPO法日本国際ボランティアセンター	特定非営利活動法人益城さいすきプロジェクト・きまに
アニマルライフサポート福島	こちら肉球クラブ	特定非営利活動法人日本動物生命尊重の会	mum-first のぎのたね
アニマルライフセーバー	さいごまで家族の会	公益社団法人日本動物福祉協会CCクロ	みお七ヶ浜まつり実行委員会
認定NPO法人アニマルレフュージ関西	特定非営利活動法人C.O.N	特定非営利活動法人日本臨床美術協会	南相馬にゃんこはうす
淡路ワンニャンクラブ	優文の会	にゃんぼみち	宮城県犬猫里親探しの会パトントッチ
特別認定NPO法人e-Education	一般社団法人準備室	任意団体北九州ノアハウス	みんなのカフェ ranran cificant
有限会社石川	特定非営利活動法人湘南鎌倉猫ほつとさぼ-と	猫里親さん募集！にゃんこ組	公益財団法人メイク・ア・ウィッシュオプジャパン
特定非営利活動法人一匹でも犬・ねこを救う会	湘南ねこの会	特定非営利活動法人猫達の幸せを守る会	特定非営利活動法人もりねこ
犬楽園	認定NPO法人全国盲導犬施設連合会	特定非営利活動法人猫たちを守る十勝Wishの会	一般社団法人ゆめまるHAPPY隊
特定非営利活動法人犬と猫のためのライフポート	一般社団法人SORA小さな命を救う会	特定非営利活動法人猫と人を繋ぐツネコ北海道	ライトハウス
特定非営利活動法人犬猫みなしご救援隊	タゴール協会	猫のミーナ	一般社団法人リリース
命のリレー・アニマルサポート	多文化と共生社会を育むワークショップ	特定非営利活動法人猫の味方ネットワーク	特定非営利活動法人ルワンダの教育を考える会
iriséeイリゼ	たんぽぽの里	PAK保健所の犬・猫を救う会	特定非営利活動法人わびねす
特定非営利活動法人エイズ孤児支援NGO・PLAS	地域猫啓発団体ねこ☆にやら-ず	特定非営利活動法人HEART	
特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	地域猫の会P.A.W.S.	Patisserie Partir	
認定NPO法人ACE	ちーむぼんぼん	認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーン	
絵手紙たんぽぽ	ちばわん	特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド	
特定非営利活動法人おおさかねこネット	認定NPO法人チャイルド・ファンド・ジャパン	パン工房ここあ	
認定NPO法人幼い難民を考える会	特定非営利活動法人チュラキューブ	認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン	
おりたてネコものがたり	認定NPO法人TSUBASA	一般財団法人PEACE BY PEACE COTTON	
かずやねこ	認定NPO法人テラ・ルネッサンス	筆甫地区振興連絡協議会女性部「IPPO-IPPO」	
語り場プロジェクト	ドイツ国際平和村	人と犬猫との共生を考えるハッピーテール	
公益財団法人神奈川県動物愛護協会	特定非営利活動法人東京キャットガーディアン	人と犬の幸せな共生をサポートする戌柳	
Café Plumeria	特定非営利活動法人動物愛護団体LYSTA	株式会社陽と人	
認定NPO法人キャットネットかまくら	特定非営利活動法人動物愛護団体ワンハート大阪	150匹犬猫ボランティア	
京都大学 iPS細胞研究所	特定非営利活動法人動物愛護を考える茨城県ネットワーク	特定非営利活動法人平塚のら猫を減らす会	
一般社団法人清川しっぽ村運営委員会	動物いのちの会いわて	特定非営利活動法人ファミリー	
蔵の農泊あぐり	動物ノート	Forum for Integrated Development	
株式会社グリーディー	一般社団法人東北ツリーハウス観光協会	Perro Dogs Home	
ケダマの会	特定非営利活動法人ドリームキャット	特定非営利活動法人ホープフル・タッチ	
神戸市人と猫との共生推進協議会	にこにこエタクシー	特定非営利活動法人保健所の成犬猫の譲渡を推進する会	
神戸でみんなでアートしよう！！実行委員会	一般社団法人西脇動物の命を守る会	Hokkaido木村秋則自然栽培農学校	

- * 報告書本文中では、法人格を省略して紹介させていただきました。
- * 団体名称は、基金拠出時のものです。
- * 本報告書は、2019年2月末日現在の情報をもとに作成しています。

2018年度
フェリシモ基金活動報告

発行元：フェリシモ基金事務局
株式会社フェリシモ内
〒650-0035 神戸市中央区浪花町59番地
発行：2019年5月

ともにしあわせになるしあわせ

